

## 令和4年度知事定例記者会見[抜粋]

### 令和4年5月19日 知事定例記者会見[抜粋]

#### ○西日本新聞

次に、新幹線の新鳥栖－武雄温泉の整備方式を巡る国交省との「幅広い協議」について質問します。

6月で協議してから2年になりますけれども、これまでの協議内容に対する評価と、今後の協議のポイントについて教えてください。

#### ○知事

「幅広い協議」については、これまで6回させていただきました。国からの呼びかけに応じて対応したわけであります。経緯については、今日は申しませんが、この6回の協議をした中で、やはり国交省の話は、与党PTのところからの話で、ずっと佐賀駅を通るアセスルートに固執されているという感じなんです。我々が言っているのは、もっと大きな視点で、幅広く、ルートも含めて、このフル新幹線ってまだ何も決まっていない、この問題がどういうふうか、佐賀県はもとより、九州の発展に資するんだらうかと。そのときに、やはりフリーゲージが断念された国の責任を踏まえて、どういう形としてであれば佐賀県として対応する可能性があるのかというところを骨太に話をしたいと思っているわけです。そのギャップがどうしても埋められなくて、国とすると、佐賀駅を通るアセスルートを前提として次の展開をしようとしているところがある。僕らはそういうところじゃなくて、もともと何もこれまで決まっていないフル規格ということについて、協議はして結構ですということは変わらないわけだけれども、そこに値するような議論をさせていただきたいと思っているわけです。

ですので、そのすれ違いの部分が解消できるのかというところが、これからの課題だと思いますし、これもかねがね申し上げておりますけれども、我々から打開するという趣旨の話ではないと思っているので、あとは国の考え方がどうかということにかかっているのではないかと考えています。

### 令和4年7月8日 知事定例記者会見[抜粋]

#### ○西日本新聞

先日、参院選で弊社をはじめとする各社の世論調査をしまして、弊社の世論調査で新幹線のフル規格について、3年前は反対派が多かったんですけれども、今回調査では賛成が56%になっていて、一報道機関の調査なので、これが民意とは捉えられないですが、今後そのフル規格を求める声が県民から高まってきたら、知事として

は、どうお答えされていくのかなというのを教えてください。

#### ○知事

この世論調査って難しいなと思うのは、例えば、新幹線の問題というのは在来線、これから今、非常に便利な特急ってどうなっていくのかなとか、それこそほかの財政負担、ほかのところを削って新幹線の負担に回すということというものがどうなのかなとか、様々な問題があるんですけども、そうした中で普通に、例えば、新幹線、武雄から先ができて、ここをつなぐ、つながないと聞かれたら、つなぐって答えます。それは普通あまりいろんなことを考えずに、そこが切れているからつなぎますか、つなぎませんかと言ったら、つなぐって、それは答えるでしょうし、普通に何も考えずに、例えば、税金を上げたほうがいいですか、下げたほうがいいですかと言ったら、下げたほうがいいって私は言ったと思いますし、そう思うと思うんですね。

そこを、僕らはずっと佐賀県のことを考えてこの問題もずっと長い間考えているので、そうした中で、それをどうやって県民の皆さん方に伝えていくのかということと、我々自身が、もちろんこれは我々はフル新幹線をだめと言っているわけではずっとないわけなんです。ただ、これはいろんなやり方がある中で、今、そのルートの問題から含めて佐賀県の将来に大きな影響を与えるので、安易にやる話ではなくて、しっかりと調整をしながらやっていく話だということで、そういった意味からすると、別にフルをやらないうちでいいわけではないので、先々週も国交省にも行って関係者と話してまいりましたし。なので、そう受け止めていますし、前回より多くなったというのは今、開業効果、9月23日から新幹線ができるので、やはり新幹線でみんなを盛り上げる、高揚する効果ってあると思うし、私も西九州の発展、振興のために、この機会を活用して盛り上げていきたいなと思いますので、新幹線が来てくれてうれしいなという気持ちということ、これは大切にしていきたいなと思っております。

#### 令和4年8月19日 知事定例記者会見[抜粋]

#### ○朝日新聞

もろもろ面白そうな企画など、たくさんあるんですけども、まず、幹事社側としては政治絡みのことで、2つについてお伺いしたいと思います。

まず、新幹線です。

9月23日の西九州新幹線開業まで1か月近くにまで迫りましたけれども、改めてそのことについて知事としての所感をひとつ教えてください。

あと、開業に向けていろいろ、このように準備されていますけれども、その中で、現時点で見えてきている課題があれば教えてください。

それともう一点、武雄温泉－新鳥栖間については、今回の開業によって、どうなって

いるのかという議論の注目がさらに高まってくると思いますけれども、国と長崎県、JRがアセスルートによるフル規格というところを軸になかなか膠着状態になっていますけれども、このことについてどういうふうに知事が考えておられるかというのを教えてください。

#### ○知事

西九州ルートの開業についてははいよいよだなということです。これまで本当に長い間、関係者が協議を積み重ねてきたものです。もちろん、佐賀県側からすると、フリーゲージトレインということで開業されると思っていたわけでありまして、その間、新幹線が、先ほど言った武雄温泉から新鳥栖間についても走る予定だったわけですけど、そこはご案内の事情でフル新幹線によって武雄温泉から長崎駅までが通るということでありますので、それについても佐賀県は非常に多額の負担をしているわけでありまして、何とかこれを生かしたいという気持ち、そして、それとあわせて厳しい状況に、特急本数の減になった鹿島、太良地域をむしろ何とか盛り上げていきたい、それを行うことが佐賀県の大きな、大事な責務だろうと私は思っているので、武雄、嬉野の皆さん方とこのチャンスを生かしてもらおうということと、鹿島、太良をさらに盛り上げる。

さらに、この新幹線と関係ないのではないかと考えがちなエリアについても、実は今お話いただいたように、かなり注目が当たると思うんですね、佐賀ー長崎エリアにですね、西九州エリアに。先ほどのロマ佐賀の話もそうですけれども、僕らは佐賀県中に注目をしっかり当たるようにということでDCキャンペーンも同時期にセットしたわけでありまして、何とかそういった方向でチーム佐賀、オール佐賀で盛り上げていけるように努力をしていきたいということです。

課題については、やはり 23 分の新幹線というものをいかに盛り上げていくのかというのは、なかなか今までそんなに前例がないと思うんですね、短い区間ですから。だからこそ、それをどうみんなでデザインして盛り上げていくのか。佐賀県的には、先ほど説明しましたけれども、ファストとスロー、我々が培ってきた、むしろスローな旅、そして伝統といったものについて見ていただける仕掛け、やはり人は心を豊かにしなければいけないので、そういうところに、このコロナ禍の中でコミットできるような、そういう仕掛けができるかどうか大きな課題だろうと思います。

その 23 分を早く、急ぐということについては、特に佐賀県は、あまり大きなメリットがありません。長崎の方にとってみると、博多まで 30 分短くなるというのは、私も長崎に住んでおりましたけど、画期的なことだと思います。ですので、それぞれの地域ごとにいかにこれを生かしていくかということが課題だと思います。

最後に、こういう形になってしまったわけですね。結局フリーゲージトレインの開発を国が断念したことによって今の状況が生み出されてしまったと。我々は、そういった意味からすると、ずっとこれまで、フル新幹線の難しさというのは再三、県議会も含めて、私が知事になる前に議論を積み重ねてきたわけでありまして、そういう構造的な課題

というものを、ただフル新幹線を全くしないということじゃなくて、我々としてそれをやる糸口が見いだせるのであれば閉ざすものではないということで、今「幅広い協議」をやっているわけなんです。これは毎回申し上げてはおります。そして、今回はよく佐賀県の事情、特にフル新幹線がいかに難しい課題であるのかということを知悉されている古川さんが鉄道担当の政務官になられたということ、そこを踏まえた上で国が柔軟な対応を取っていただくということに我々は大きな期待を、私は大きな期待をしたいと思います。

#### ○読売新聞

新幹線の関連なんですけれども、与党PTの森山さんが挨拶に来られるというお話がありましたけれども、今のところ、知事と面会の予定というのは入っているんでしょうか。

#### ○知事

私からですね、東京に私が行くときにお話に行きますからというふうに話をさせていただいております。ですので、どこかしのタイミングで上京の機会にお話をさせていただくということになろうかと思えます。

#### ○読売新聞

上京の予定というのは今月中とかに予定が入っていたりするんですか。

#### ○知事

ちょっと私は自分のスケジュールはあれですけれども、8月下旬、9月上旬、常識的に考えれば、そのあたりでセットされるんじゃないでしょうか。

#### ○読売新聞

それで、今回、新たに変わったからという側面が大きいとは思いますが、9月23日に西九州新幹線が開業してすごい注目を集める。その一方で、新鳥栖―武雄温泉もどうしても注目が集まってしまう面があると思うんですけれども、今後に向けて、森山さんとはどういう話合いをしていきたいとか、そういう期待とかはありますでしょうか。

#### ○知事

森山さんは非常に現場とか人の思いというのをすごく分かっていただける方、私も過疎をやっていたときに、森山さんは過疎の政治家側の委員長で、いろんな相談をしながら進めさせていただいたので、なので、やはり我々がどういう思い、どういう考え方でやっているのか、そして、国の責任というのはどういうところにあるのかということ、そして、西九州ルートの特異性、そういったことを踏まえて打開策があるのかないの

かといったところを、いつも僕は腹を割っているんだけど、いつもより腹を割って話をして、何とか打開策を見つけていきたいと思っています。

## 令和4年10月13日 知事定例記者会見[抜粋]

### ○朝日新聞

分かりました。ありがとうございます。

では続いて、西九州新幹線の開業を終えて、いろいろなことが実際に走り出して動き出している部分もあるんですけども、武雄温泉－新鳥栖間の考え方について、知事はこれまで九州全体のインフラを考えていろんなことを考えていくべきではないかというのを投げかけをしてきたと思います。これは言葉としてやっぱり少し漠然としているというか、言ったら謎かけみたいな形で、何を考えとんしゃつとやろうかという形にどうしても取られがちだし、私も分からないので、多分、国と長崎県と佐賀県という中では、別に佐賀県が積極的に何かを提案する筋でもないですから言わない部分もあるし、交渉のこともあるので、こっちから切り出すというのもまたいろんなことが大き過ぎるということで控えていらっしゃるのも分かるんですけども、12月に知事選を控えていらっしゃって、県民としてはやはり知事は何を考えているのか、山口祥義は何をを考えているのかというところを投票する上で重きを置く人もいると思うんです。もう少し分かりやすいというか、言える範囲で、どんなことを考えていらっしゃるのかというのをちょっと教えてください。

### ○知事

記者さんはだいぶ分かっていらっしゃる上でお話しいただいているので、どのように県民の皆さん方にこれをお伝えするのかはなかなか難しいところがあるんですけども、例えば、今回の新幹線の開業でも、やはり鹿島、太良地域の皆さん方が乗換えの問題だとか様々な問題で非常に厳しい状況になった。普段使いしている学生とか通勤の皆さん方が大変な思いをしているということは、これはまず大事なことだと思います。今回、特に光と影とよく言われますけれども、浮き彫りにされたところで、私はそのことというのはどうしてもこれから先の鉄路を考えた上でも、そういった問題というのは考えなければいけないと思いますし、もう一個、今回の新幹線の議論では、私は切ないという言葉を使いましたが、ずっと佐賀県は、もともと長崎県の意向を受けて、長崎県のためにやってきたこと、そして、今回全て解決するはずだった、フリーゲージトレインで解決するはずだったやつを、簡単に言えば、はしごを外されて国ができないという話になって、佐賀がそれを邪魔しているような報道がなされて、非常に傷ついているわけでありまして。

そういったことを前提にしながら、それでも「幅広い協議」になる中で、フル新幹線を

やるということであれば、そういった様々な負の側面も含めて、しっかりと先が見える形で踏み出していかないと、生半可なことで何かを決めてしまうと、その後は完全に、ダイヤの問題にしても在来線の問題にしても、これは地元の大きな財政負担にもなってきますし、そういった問題というものが後回しになってしまうわけです。なので、そういったところというのはしっかりと、これは交渉事でもあるし、全体としてのパッケージとしてどういうものができるのかというものを考えたときに、やはり佐賀県民みんなが、このパッケージだったら夢が描けるね、みんなで乗り出してみようか、これは県議会も含めてみんなで。という絵が描けるかどうかにかかっていると思うんです。

だから、そういうようなものが描けるかというところについて、様々なルートを通していろんな意見交換をしているんだけど、これはさっき言ったような様々なケースがある、複雑な方程式なので、あっさりとかで解決するわけではなくて、やはりいろんな議論をしながら、1つのそういうものができるのかどうかということにかかっているわけだけど、それは我々から打開するという性質のものではないというのは、これは毎回申し上げていることです。

なので、その環境を整える努力は私もしていきたいと思うし、その環境が整うような状況になるかどうか、そのときの1つのポイントが、九州全体のインフラというか、この様々なものをどう考えていくのかという大きな発想で、ですので、これまでずっとやってきた議論の延長線ではないところにそのヒントがあるのではないかとこのところが私の考えなんです、これ以上になると詳細になってしまうので、この辺で勘弁していただきたいと思います。

## 令和5年1月20日 知事定例記者会見[抜粋]

### ○時事通信

次に、これにも関連して西九州新幹線に関して伺いできたらと思いますけど、アリーナの開業もありますし、今後、交通の利便性というところを考えた点でも、やっぱり西九州新幹線の整備というのが急務かなと思うんですけれども、1年近く国との協議が行われていないんですが、今後の見通しについてはいかがでしょうか。

### ○知事

佐賀県でいろいろ行われていることに関して、コンテンツをよくしていこうということに注力しようと思っているので、新幹線はあくまで移動手段でありますから、素晴らしいコンテンツがあれば人は必ずやってきます。例えば、B'z のコンサートがあって、新幹線がないから来ないなんて人はいないわけで、やはりいいコンテンツがあるところに人はやってくるので、その中で、今回、武雄温泉ー長崎間が開通して、それ自身で非常に効果を得ていると。特に長崎のお客さんが多くなったと武雄の皆さん方が言って

おられました。そういう効果もありますし、佐賀県とすると非常にそれ自体、この効果が持続できるように、そして、スローな旅が続くような、楽しめるような環境を整えていきたいと思います。

その中で、この新幹線の新鳥栖－武雄温泉間の議論については、我々から何かを打開するということは考えておりませんが、「幅広い協議」はしていこうということで常に申し上げてはいます。ところが、なかなか国からそういう話にならないというか、別に議題がなくても定期的に意見交換でもどうですかという話もさせていただいているんですけれども、なかなか進まないということなので、そうであれば、このままの状況で、今の状況をよりよくしていくことに注力していこうと思っています。

#### ○西日本新聞

西九州ルートの関係なんですけれども、本日、新聞報道で出ていましたけど、鉄道・運輸機構がフリーゲージトレインの走行試験設備の撤去が進んでいるという報道があったんですが、知事の受け止めをお願いします。

#### ○知事

これは私もはっきり聞いていないんですけれども、というのは、うちの職員も一切聞かされていないということで、これ自体がかなり遺憾だなと思うんですね。だって、これは新八代のあの施設のことでしょう。あれは何かというと、私の理解だと、フリーゲージトレインの開発をしてきたわけですね。500億円ぐらいかけてやってきたんですかね。もしそれを一切やめるということになると、今「幅広い協議」をする中で、フリーゲージトレインについては選択肢から落ちていないわけですよ。特に佐賀県は、高速で在来線区間を通るということについての問題点は摩耗試験とかであったということだけでも、低速であれば、今、近鉄さんが在来線区間で検討を進めているように、もし乗換えが嫌だというのであれば、それは選択肢の一つとしてまだ我々として維持しているわけです。なのに、「幅広い協議」をしている一方の当事者である国が、それを我々に連絡があっていない。全く連絡がなくてそういう判断をするというのは、これは遺憾ですよ。説明をちゃんとすればいいと思う。だから、結局国は、鉄建機構もそうだけど、真っ正面から自分たちのやることについて説明責任を果たして、真摯に対話をしていくということがとても大事だと思うんですよ。ですから、それを全く話もしないで、交渉の当事者があるにもかかわらず、一つの道を閉ざすというのはいただけないなと私は思います。

#### ○共同通信

新幹線の関係で伺いたいんですが、県は昨年、チームDを立ち上げて、地元の市町、鹿島とかとの協議を始められたわけですが、タイミングが開業から約2か月後というこ

とで、並行在来線の利便性が下がることについては従前から指摘されていたことで、取りかかりが遅かったのではないかという声も取材していて聞くんですが、それについて知事はどういうふうにお考えでしょうか。

#### ○知事

確かにチームを立ち上げるとかいうことに関していうと遅かったかもしれないなと思います。ただ、これについてはみんなと議論をしながら進めてきたことはあります。ただ、私がずっと申し上げてきたのは、こういったものというのはいっきりと形にして、チームとして取り組むということ、そして、最初の頃はJRが入ってくれるか取れないかという議論があったけれども、そんなこと関係ないから、みんなでそういうことを言い合う場をつくって、しっかりと対策を成熟させていかなければいけないし、何となれば別に今回は上下分離で県が下物を持つものだから、それでできることだってあるはずだし、そういう意見集約をするようなチームをつくろうぜというのは、確かにもっと早くやっていけばよかったなと私も素直に思うけれども、でも、これからずっと続くわけだし、こういったチームの中に、これからはぜひJRさんとか様々なチームに参画していただいて、みんなで前に進めていくということだと思えます。

例えば、「かささぎ」も平成 28 年の6者合意のときに、特急は 10 本になる予定だったんですけれども、佐賀県が踏ん張って3年間 14 本というところをゲットしたわけだけれども、逆に言えば、3年経つと 14 本が 10 本にまた減るということですよ。なんだけれども、やはりここはまたこれが維持できるようにみんなで取り組んでいく。ですので、JRさんはJRさんで、やはり株式会社なので、これは航空会社と同じですね。その乗車率というものを維持して、鹿島の皆さん方にも福岡に行く場合は「かささぎ」を使っていただく。福岡の皆さん方がぜひ「かささぎ」で来ていただいて、鹿島、太良を回っていただくようなコース、商品をつくっていくということをチームDでみんな一緒になってやっていくということが将来に向かって有効だと思うので、今後の活躍に期待したいと思います。

#### ○共同通信

関連して。今お話もありましたが、先日、市長会との会合でも乗車率を維持してというお話がありましたけど、今おっしゃったような乗車率を上げる取組というのを、来年度以降、どういうスケジュール感で進めていくのか、イメージがあれば教えてください。

#### ○知事

まさにこれもやれることはやっていきたいんですよ。ですから、どういうことをやっていけばいいのかということについては、今、担当部とも話をさせていただいております。ぜひ多くの知恵を皆さん方から承って、どうすればあそこのエリア、長崎本線の乗車率が上がっていくのかということについては、実効性ある対策が打てるように。もちろん地道に一つ一つ、HAMA BARとか肥前鹿島駅周辺整備とか、そういったことはや



っていくんだけど、そういうこと以外にもソフトの対策でも何かできることはまだまだあるのではないかなと思うので、ぜひ様々な意見をお寄せいただきたいと思います

#### ○朝日新聞

いろいろトピックがあるので、一つ一つ手短かにいきます。

まず、新幹線の件ですけれども、例えば、南ルート、いわゆる有明海沿いのルートについて、いろんな報道を含めて国のほうが今やっていることとか考えていることが伝わってきているんですけど、やはり公費がかなりかかるということと、軟弱地盤で安全性ですね、やっぱり自動車と違って鉄道となると安全性はシビアなものを求められるので、そこでも難しいんだというようなことの議論なんかも伝わってきますけれども、そういうことについては知事は今どういうふうに受け止めておられますか。

#### ○知事

基本的に安全性とかなんとかという話とかいろいろあるんですけど、日本の技術力、海の中に橋を造ったりとか青函トンネルを造ったり、非常に高度な技術があると思うので、そういった部分について、どうして問題、課題があるのかということについては素直にお伺いしたいなと思います。

そして、費用の面に関していえば、これについては特に佐賀県は、このような状況を招いたのは、国がフリーゲージを頓挫させて、間違いなく大丈夫だと言ったことが大丈夫でなかったというところに起因しているので、そこについてまた国からそういうことを言われるというのはいかがなものなのかなと思いますし、先ほどの八代の問題も、今回の問題もそうだけれども、我々は今の状況、いわゆる乗換え方式を成功させたいと心から思っているんで、そこから特に打開されないということで、この現状をしっかりと佐賀県として生かしていくということになるのではないかと思います。

#### ○朝日新聞

まさに先ほどのFGTの話もそうだし、今回もそうなんですけれども、お金を出し合っただけで一つのものをつくっていかうという中で、対立になってしまっているというか、情報交換、情報共有を含めてなかなかできない。1年に1回のもので2年近く会議も開かれないというような状況そのものについてはどういうふうにご考えておられますか。

#### ○知事

だから、私は協議したいと思うんですよ。ですので、国も他の区間とかで忙しいみたいですけどね。北海道や北陸の問題とかも多々抱えているのでね、鉄道局も。なので、あまり準備はなくても、フリートーキングでもいいから、来ていただいたらいいと思うんですよ。様々な議論をしていけば、その中からまた知恵も出てくるかもしれないのでということで、我々は別に閉ざしているわけではないので、そうした中で国がどう考えて

いくのかということなんだけれども、さっきの話じゃないけど、知らない間にフリーゲージを突然減損処理したりとか、こっちに話があればいろんな話もできたと思うんですよね。だから、もっと普通に議論をして、お互いこの国をよくしようとか佐賀県をよくしようという志を持ってやっている、ある部分、同志なので、一緒になって話をしながら考えていくということだと私は思いますけどね。